



ペルタック/GR

ペルタック/GRは1,2-ポリブタジエン(1,2-polybutadiene)をベースとする多機能な加工助剤であり、顆粒形状にしたものです。以前の高粘度の1,2-ポリブタジエン(1,2-polybutadiene)と比較すると、顆粒形状にする事により取扱い、計量や添加、取り込み、分散が容易になります。

ペルタック/GRの使用には多彩な可能性があります。まず第一にすべてのゴムコンパウンドに対して一般的な加工性を向上する高分子の加工助剤として推奨されています。ほとんどのケース、例えばインジェクション成型や押し出しにおいて良好なゴムコンパウンドの流れの改善を示します。ペルタック/GRを加えたゴムコンパウンドはムーニー粘度の増加を示すが、それにもかかわらず加工性は改善されるでしょう。(スパイダー金型での流れ特性)

架橋加工助剤としてペルタック/GRは硫黄加硫システムと同様に、パーオキサイド加硫のポリマーを加硫します。この理由にから、ゴムと他の材料との接着に影響を与えません。ペルタック/GRは共架橋剤であり、したがって抽出されません。つまり油、ベンゼン、溶剤に対する耐性を要求されるゴムコンパウンドに悪い影響は与えません。その上、ペルタック/GRは食品と接触するゴムコンパウンドにも適しています。

ペルタック/GRはまたパーオキサイド加硫のゴムコンパウンドに対する共反応助剤として使用されます。ペルタック/GRはTAC, EDMA, BDMAなどの助剤と何の問題も無く置き換える事が出来ます。ペルタック/GRは物性レベルを向上させます。高いショア硬さを要求される場合は特に効果を発揮します。ほとんどのケースにおいて圧縮永久ひずみの値を下げる事が可能です。

ペルタック/GRはゴムコンパウンドに追加されるべきではありません。ペルタック/GRの添加量だけ使用するポリマーの量を減らす事が推奨されます。特に、とても高価なHNBR(水素化ニトリルゴム)にとってポリマーとペルタック/GRの部分的な置き換えは興味深いだろう。試験により15phrまでのポリマーとペルタック/GRの置き換えは原材料価格を減少させるだけでなく、物性及び加工特性が最適化されます。

推奨添加量: 5 - 15 phr

物理的特性

化学的特性	:	60% 液体ポリブタジエン(polybutadiene) 40% キャリア
外見	:	白色顆粒形状(直径6-8mm)自由流動性
密度 (20℃)	(g/cm ³)	: 約 1.18
かさ比重	(g/ml)	約 0.5
貯蔵安定性	:	適切な貯蔵条件下で1年
梱包	:	15kg/カートン 低融点(60~85℃)のPE袋で各1kgずつ密封包装。 ご希望により0.5~2.5kgの事前計量も可能。